

衆議院第一回國会通信委員會議錄第

昭和二十二年十一月二十七日(木曜日)

原
早
稿

出席委員

○岡田委員長　會議を開きます。

理事白井 佐吉君

これより郵便貯金法案（内閣提出參議院送付）第一二一號を議題とする。

片島	港君	成田	知巳君
野上	健次君	矢尾臺三郎君	
小島	徹三君	千賀	康治君
田島	房邦君	長谷川政友君	
多田	勇君	森	直次君
河口	陽一君	林	百郎君
出席國務大臣			

會をもつて終了したとしておるのであります。が、討論採決には、いに先だち、本案と農業協同組合法の制定に伴う農業團體の整理等に関する法律との間に、疑義の點がありますので、この點に關し、成田委員より質疑の申出があり、これを許すことに御異議ありませんか。

出席政府委員	内閣事務官	今枝	常男君
遞信政務次官	椎熊	三郎君	
遞信事務官	村上	好君	
遞信事務官	山戸	利生君	
委員外の出席者			

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
○岡田委員長 ではこれを許します。
成田君。

十一月二十六日

郵便貯金法案(内閣提出)參議院第
付)(第一二一號)
の審査を本委員會に付託された。

本邦の會議に付した事件

新編卷之三

付(第二二號)
一 民間放送事業に關する請願(大)

りますので、もしその通りに施行され

富伍三郎君紹介(第一〇七〇號)

體の整理等に關する法律の第三十三條

三〇中須港に無集配郵便局設置の請

言わなければならないと思います。今

第一類第十五号

通信委員会議録

第十四号 昭和二十二年十一月二十七日

議 錄 第 一

回の場合は單に客體が存しないということになりますので、法律の解釋からいつて、單に無効だと解釋されるよりも思われますが、もし郵便貯金法の第四條といふものが實質的な規定を規定しているとするならば、郵便貯金法の實體が改正されるということになつて、非常な不都合を生ずるのではないかと思ふのであります。そこで政府は農業團體整理等に關する法律の、問題の三十三條を廢止するという削除の法律案を提出したくなる御趣旨があるかどうかとお出しになる御趣旨があるかどうかと、いうことをお伺いしたいと思ふ。

○今枝政府委員　ただいまお尋ねの點についてお答えいたします。御指摘の通り、農業團體組合法の制定に伴う農業團體の整理等に關する法律の三十三條の規定は、郵便貯金法の改正法律よりもあとに施行される結果になる見透しであります。従いまして、この規定は客體を失いまして、働き得ない規定になるわけであります。ただいまお話をありました通り、この規定がもつております内容いかんによりましてはもしこうした規定を存置いたしますと、新しく變りました規定をも、場合によつたら改正するような結果になりまして、不當な結果を生ずることがあるのであります。たゞくこの案におきまでは、現行規定の第四條中の特殊の部分を特に提示をしております結果、この三十三條の改正規定にありますような内容は實現することのできない規定となりまして、自然無意味な、無効

規定となるのであります。従いましてこの規定をこのまま存置いたとしても、はなはだ體裁はよくない結果にはなりますけれども、特段書もありませんので、特に修正をいいでもいいのではあるまいか、こちからふうに考えておる次第であります。

岡田委員長 それではこれより郵便貯金法案を議題として討論を行ひ、討論はこれを許します、成田知事

成田委員 私は社會黨を代表いたしました通り、今回の郵便貯金法制定に對して賛成の意を表する者であつて、憲法の制定に伴いまして憲法の精神翻覆わない點もあるといひので、二点改正されたということになつて、改正されたとすることになりますが、もとへ本法非常に技術的な點が多いのであります。要はこの技術的な法律をいかに市面で活かしていくかという點があると思いますが、時に私がいたしたいたいことは、現在のインフレーションによる大きな方途といたしまして、本法案を通じては、格段の政府の御意見をうながして、本法案の制定に賛成の意を示す所存であります。

岡田委員長 次は長谷川政友君。

長谷川(政)委員 私は民主黨を代

いたしまして本法案に賛成の意を表します
る者であります。郵便貯金法は申します
でもなく郵便貯金事業の基礎法規であ
りますが、現行法は明治三十八年に制定
された實に舊時代の法律であります
て、新憲法の精神に副わない點もあります
かつ今日甚大な發達を遂げました郵便
貯金事業に適合しない點があります
が、今回提出された法律案は、これら
の缺陷を是正して内容もおむね適切
妥當と認めるものであります。殊に政府
はインフレ防止の一助として歲末の
浮動資金をねらつて郵便貯金の一大増
強運動を起さんとするものであります
から、委員會は速やかに本法案を可決
して、政府をして自由に活動する政策
を遂行せしむべきであると思うので
あります。なお本法律の實施にあたつ
ては、政府は十分國會の意のあること
を體されまして、適切妥當なる運用
に努められんことを特に希望いたす次
第であります。

[88]

ひとも議會に提案いたしまして、御審査をお願いしたい、こういう段階にあります。従つて、これらの問題が解決するまでは、ただいま御討論願になりましたのような趣旨には、いろいろごもつともな節あるのではござりますが、この法案が確立するまでは、そういうものを許すというようなことは實際上できかねると思われるのであります。従つて本請願には以下のとところ遞信省といたしましては不同意を表明しなければならぬと思つております。

術を管理し、また國內放送、海外放送を運用する機関の設立を規定しなければならない。そこで今度できました放送事業法案の最も重點をなすものは、この國內放送、海外放送を運用する機関の問題である。その機関とは何ぞや。すなわちこの機関は自治機関でなければならぬ。その自治機関といふものは、しからばどういふものか、この機関はすべての日本政府の行政官廳から離れて独立していなければならぬ、すべての行政機關の監督を受けちゃならぬといふことでござります。

す。そしてこの管理機關を構成するものは何らか委員會のごときもの、しかもそれは國民の總意を代表するがごときものでなければならぬ。そうしていかなる會派からもいかなる派閥からも制肘を受けざるものでなければならぬ。

便物の配達區域となつてゐたが、昭和十五年度に人手不足のため配達区域から除外されたので、住民の不便は言語に絶している、ついては該兩部落を從來通り配達區域に復活されたい。といふ請願であります。

本請願については政府側の意見を聽取いたします。

○椎熊政府委員 本請願にござりますと、奥栗及び三軒屋の兩部落は、それべ戸敷がわずか三戸でございまして、山間の小部落でございます。集配局の大井局と奈比賀局からそれべ七キロな

愛知縣知多郡豊濱町中津港は、知多牛島南端の漁港で、近時水産業の隆昌に伴い異常の發達を遂げ、特に水産加工業が盛んであるが、既設郵便局は同港から三糸も離れていて、交通不便のため各地方からの註文に著しく不便を感じて居る、ついては該港に無集配郵便局を設置されたいと申うております。

○椎熊政府委員　本請願につきましては、受持集配局が豊濱局になつております。本地内は尾上町吉井町を除して

その根本原則の第一は、新法律はすべての放送技術すなわち國內放送、海外放送、周波数變調、テレビジョン模寫放送の整備に對する確固たる基礎を規定すべきである。すなわちこの放送の對象となるのは、國內放送はいわゆる中波放送であります。それから國際放送は短波放送、周波数變調というのは超短波放送であります。それからテレビジョン、模寫放送、これだけがこの法律の對象になる。——しきことであります。第二の點はこの基本立法は次の諸點に關し重要な一般原則を反映すべきものであるといふ點でござります。その第一は放送の自由。第二は不偏不黨、第三は公衆に對するサービスの責任の充足、第四は技術的諸標準の遵守、この技術的といふ點に關しましては、電波に關しては國際會議等によつて、萬國共通の規約等もありましたり、外交上のいろいろ複雜な關係等もあるのでございまして、これらは斷じて遵守しなければならぬということになつております。それから基本法はあらゆる種類の放送形態、すなわちすべての放送技

とにかくそれは自治機関でなくちやならない。それは遞信省からも、文部省からも大蔵省からも、そのいかなる省からも完全に獨立していかなる者に對しても責任を負うてはならない。それはまたいかなる政府からも、いかなる政黨からも思ひます。いかなる政府の國體からも、またいかなる個人の集團からも、いふる個人の會からも支配を受けてはならない種類の機關である。そうしてこの機關が法律により、國內及び海外に送における獨占を唱道しておるものではない。そういう機關だから、これによつたく獨占を唱道しておるのがとて實際してはならぬ。むしろそれは實業事業に對する一つの獨立したる管機關ができて、その下に現在の放送のような實施機關ができるいくと、その反対を唱道しておるのだといふことがあります。

しなければ集配を實施し得ない状況にあるので、ただちに請願の趣旨に副うて、ということは目下のこところ非常に困難があるようでござります。なお所轄の課局に實情を一層深く調査せしめた上で、信局に實情を一層深く調査せしめた上で、研究してみたいと考えております。

○岡田委員長 本件に關して何が御疑問ありますか。

○林(西)委員 ちょっと申し上げておきたいのですが、本委員會にも大分たくさんのお請願があつて、採決は全部お保されております。できますならば、府側の答辭、請願の趣旨を簡単に書いたようなものを、採決の場合には配付していただけるよう御便宜をほかに思つていただけば、非常に仕合せと思います。

○岡田委員長 次は日程第三、中須賀無集配郵便局設置の請願、紹介請願、早稻田柳右二門君——本請願の要旨

ることは請願の通りのように思われますが、ここに局を置くといたしましても、初神方面からは山越えのためにこれを利用する者はまつたくなからうと思われます。利用者はだら縣道沿いの部落の方々だけで、私どもの調査によりますと享便人口は千三百人程度すぎないのでござります。郵便局をつくる標準といたしましては、享便人口が四千人といふことを目下大體私どもの標準としておるのであります。ですからさしづき請願の趣旨に附つて、ただちに郵便局を設置するということは今のところ困難かと思われますが、今まで享便戸数等が多くなつたときは、やらため考慮してしかるべきだ存しております。

○岡田委員長 本件について質疑はございませんか。——本會議が始まるうえと思われますので、本日はこの程度にして散會したいと思いますが、御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○岡田委員長 では本日はこれにて散會いたします。

[89] 亂にかみうあ府はた、も四つに化く。

す。そしてこの管理機關を構成するものは何らか委員會のごときもの、しかもそれは國民の總意を代表するが、ときものでなければならぬ。そうしていかなる會派からもいかかる派閥からも制肘を受けざるものでなければならぬ。

〔速記中止〕

それで來議會には私どもは放送事業法案を遞信省の責任において提出いたしましたが、その法案の成立の結果は放送事業といふものを遞信省が管轄をするということは絶対にならないのではなくかろうか、こう目下のところは豫想せられたる御提出になりました請願のごときは、參議院等におきましても、この取扱いにつきましては、いろいろ御意見があります。従いまして本日は、提案者自身はこれを撤回する旨して、提案者自身はこれをおきましても、この取扱いがあります。今日大宮君からの紹介によるこの請願に關連いたしまして、放送事業法を草案する今日の遞信省の責任、建前、關係方面との事情等、今まで外部に漏らしておりませんでしたが、各方面からいろいろな問題を提起されておりますが、各位はたゞいままで請願を審議せらるるにあたましても、この點を深く岩合みの上適當に御處理を賜わらんことをひとえに希望する旨です。

○岡田委員長 本件に關して質疑はありませんか。

○岡田委員長 次は日程第二與栗及び三軒屋兩部屋を享便區域に復活の付願、紹介議員長野長慶君——本請願要旨は高知縣安藝郡東川村大字宗比

便物の配達區域となつてゐたが、昭和十五年度に入手不足のため配達區域から除外されたので、住民の不便は言語に絶してゐる、ついては該兩部落を從來通り配達區域に復活させたい。とう請願であります。

本請願については政府側の意見を聴取いたします。

○椎原政府委員 本請願にござりまする奥果及び三軒屋の兩部落は、それ戸敷がわずか三戸でございまして、山間の小部落でございます。集配局の大井局と奈比賀局からそれ、七キロないし九キロの遠隔な地にあり特に増援しなければ集配を實施し得ない状況にありますので、ただちに請願の趣旨に従うてあるようござります。なお所轄の遞信局に實情を一層深く調査せしめた上で研究してみたいと考えております。

○岡田委員長 本件に關して何か御質疑はありませんか。

○林(西)委員 ちょっと申し上げておきたいのですが、本委員會にも大分多くさんの請願があつて、採決は全部翌日保されております。できますならば府側の答辯、請願の趣旨を簡単に書いたようなものを、採決の場合には配布していただけるよう御便宜をはかっていただきれば、非常に仕合せと思います。

○岡田委員長 大體おつしやるよううにいたします。

○岡田委員長 次は日程第三、中須賀の無集配郵便局設置の請願、紹介議案

讀にかめりあはだすも日本化す

午後三時十一分散會

行後も、なお、その效力を有する旨を附則に規定している。

〔公報〕 郵便貯金法案(内閣提出、參議院送付)に関する報告書

一、議案の目的

現行郵便貯金法は明治三十八年に制定され、その後一部分改正が施されているが、新憲法が實施され、郵便貯金事業も顯著な變遷を遂げている今日の情勢に適應しないものがあるので、これを廢止して、新たに新憲法に即し、時代の要求に合致した郵便貯金法を制定しようとするものである。

二、議案の要旨

本法律案が現行郵便貯金法と著しく異なつてゐる要點を挙げれば

- (一) 目頭に法律制定の精神及び事業管理者たる遞信大臣の職責を掲げた外、從來省令に委ねられていた貯金の種類、利率、利子計算、各種請求権等郵便貯金事業の利用條件として重要なものを總て本法律で規定したこと
- (二) 最近の經濟事情に對照するとともに、インフレ防止策の一環として、貯蓄増強に資するため、郵便貯金の總額の制限額を現行の一萬圓から三萬圓に引き上げたこと
- (三) 新たに創設金附郵便貯金の制度を設けたこと
- (四) 法體系を改め郵便振替貯金の制度を設けたこと

なお、本法律案の施行期日は本年十二月一日であるが、振替貯金制度に關する規定は、この法律施

三、本法律案の施行に要する経費
本法律案の施行につき新たに要する経費は、創設金附郵便貯金の實施に要する経費約三千五百萬圓であつて、右は本年度通信特別會計繰留金より支拂するものである。

四、議案の可決理由

新憲法に基く郵便貯金事業運営の基礎法規を制定することは健全なる國家社會の再建上急速に要請せられるところであり、本法律案の内容も又適切妥當と認め本案はこれを可決すべきものと議決した次第である。

右報告する。

昭和二十二年十一月二十七日

通信委員長 岡田 勢一
參議院議長 松岡 駒吉 謹